2

「動くごみ箱」作りに取り組む耕人塾の中高生ら

こみ減量作戦 出の多い場所にごみ箱を

みの問題が、年々深刻化 年は3・6少以上にも上 った。分別も徹底してい している。実行委は「昨 ンティア事務局」の協力 ゼロステーションや、 の下、市内3カ所にゴミ まつりゴミ・ゼロ・ボラ も解消しようと「川開き こうした状況を少しで

み箱」を背負い、 ックの形にした「動くご ルを加工し、リュックサ 塾生が発案した段ボー ごみを 輪が広がっている。

び掛けている。 ゴミゼロステーション マナーの徹底を呼

自力

川開き祭り終了後のご

ない」と嘆いている。

みの回収作業などに汗を 参加。中心市街地でのご 高校生24人が昨年に続き 育成講座 には石巻専修大の一 「耕人塾」 の中

も初参加するなど活動の 産業廃棄物協会石巻支部 もセンターらいつや、 耕人塾の活動趣旨に替 今年は石巻市子ど

仙台銀行石巻支店8/1 石巻商工会議所 石/森萬画館 復興住宅 旧北上川 方下流側 7/31·8/1 中瀬 復興住宅

裏方として祭りを支える人たちがいる。それぞれの思いで川開き祭りに臨む個人、団体を紹介する。

市民一体となった多彩なイベントが繰り広げる石巻川開き祭り。今年も表舞台での参加はもちろん、

間力育成講座「耕人塾」の中高生 祭り支える裏方さん

Kの動くごみ箱作り。 回収する。

を入れたくなるように はごみ箱のデザインをカ 思梨香さん(16)は「今年 北高飯野川校2年の山崎 年に続いて参加する石巻 た耕人塾のプロジェクト たい」と制作にも力が入 フフルにし、 石巻専修大で先日あっ 思わずごみ